

かけ橋



令和5年11月30日
小平市立小平第八小学校
12月号

<https://www.kodaira.ed.jp/08kodaira>



入口は、6年生発案の新しい取組でした。
全学年からイラストカードを募集し、全校で展覧会を盛り上げよう、と自分たちのできることを全力でがんばりました。

作品が語り始める

校長 井口 修

展覧会の参観後、心のこもった感想をたくさんいただきました。ありがとうございます。

その温かい言葉は、子どもたちにとっても、教職員にとっても励みになり、「よし、明日からまた頑張ろう!」とパワーが湧いてきます。

- 自由な発想で、楽しく作品づくりをしている様子が目に浮かぶようでした。このような展覧会は、子どもたちの励みになりますし、保護者にとっても子どもの成長を実感できます。
 - ～年生になると、こんな作品も作れるんだね!と感動しながら鑑賞させていただきました。
 - 子どもたちの作品が1つ1つ違って、それぞれのアイデアがあり、自分が経験したことや見たものが形になっていて、感動しました。まるで美術館に来たような気持ちになりました。
 - 我が子の作品だけでなく、友達や学年の作品も楽しめました。体験できる作品展示は初めてでしたが、とても楽しかったです。作品で遊んでいる子もマナーよく楽しんでいて、とてもステキでした。
 - 八小の子どもたちのやさしい心、ゆたかな様子が作品に表現され、八小のよさが詰まった空間でした。
 - 放課後子ども教室の展示も素晴らしかった。小学生時代に様々な方から教わることはうらやましい。
 - 大人になると薄れていく感情や感性を思い出させてくれる作品がたくさんあり、楽しい時間を過ごせました。可能性しかない子どもたちの未来が楽しみです。
 - 昔は図工に苦手意識のあった我が子が、図工の時間が楽しい、と言っていた理由が分かりました。
- ※改善案の提案もいただいています。ありがとうございました。次回に引き継ぎ、よりよい展覧会をめざします。

展示準備が完了した時、図工専科が「1人1人の作品に個性があり素晴らしい。その作品を一堂に並べると、さらによさが出てくる。1つ1つの作品が語り始めるんです!」と熱く話していました。今回は、まさに「作品が語り始める展覧会」だったと思います。これからもその声1つ1つに耳を傾けながら、八小の良さに磨きをかけていきます。

12月の生活目標 「友達と仲良くしよう」

最近では、タブレット端末のアプリや動画で、どこにいても学習ができるようになりました。しかし、それでも、学校に登校して学ぶことには、大きな意義があります。なぜなら、学校には学級・学年の仲間がいるからです。仲間がいれば、助け合い、支え合うことができます。切磋琢磨したり、新たな考えにはっとさせられたりし、自分を成長させることができます。みんなの力を合わせれば、大きなことを成し遂げることができます。そして何より、友達や仲間と笑い合って過ごす時間は、楽しいものです。そんな友達や仲間を大切に、尊重し合えるよう、言葉の掛け方や関わり方について、児童と一緒に考えていきます。

生活指導主任

【年末年始の校庭遊び場開放について】

・令和5年12月27日(水)～令和6年1月5日(金)まで遊び場開放は中止です。

・【冬季休業中の開放日程・時間】

12月26日(火) 午前10時30分～午後4時30分

・【年明け開放日・時間】

1月9日(火) から 午後3時30分～午後4時30分

※土・日・祝日も開放はありません。